

# 全城ニュース



ごあいさつ

2012年度全国城下町青年会議所連絡協議会 会長 柄澤 深

みなさまこんにちは。私は全国城下町シンポジウムを主催する、全国城下町青年会議所連絡協議会の2012年度会長を務めております。社団法人松本青年会議所の柄澤深と申します。来年2013年、いよいよこの地域において第32回全国城下町シンポジウムが開催されます。

全国城下町シンポジウムには、城下町をルーツに持つ全国の地方都市から多くの若者が集まります。この大会は、城下町が持つ固有の文化や歴史に裏付けられたまちづくりについて、また地方都市がリードするであろう、これからの日本の未来について、青年会議所のメンバーとご当地の市民のみなさんが一緒に語り合うことが出来る、とても有意義な機会だと思っております。私の暮らす松本でも2011年、第三十回大会を開催させて頂いたこと、また「城下町復興」のテーマの下、多くの皆様と情報共有し、まちづくりについての課題や、未来への展望を分かち合いました。

今、日本という国の状態が混迷を続けている中、私たちの暮らす地方都市の置かれている状況も非常に厳しさを増しています。今後、都市間競争が激しくなっていくと予想される中で、自分たちの都市の輪郭、「まちのかたち」をくっきりと描くことが、城下町のまちづくりで一番大切なことだと強く感じています。

第32回全国城下町シンポジウム「さぬき京極大会」のテーマは「おせっかいの心溢れる城下町の創造」と伺っております。さぬき青年会議所の活動地域である中讃地域二市四町に今もなお根付く、弘法大師由来のお遍路さんへの無償の「おせっかい文化」を、ぜひ「まちのかたち」を描く一つの大切な要素と位置づけ、全国の城下町に向けて発信していただきたい。

また、参加する私たちが、この大会を通じて多くの事を感じて学んだことを自分たちの城下町のまちづくりに生かしていくことが、全国城下町シンポジウムの一番の意義だと考えます。

さぬき青年会議所の皆様とは、2010年例会にお声掛けいただいたご縁もあり、以来親しくお付き合いをさせていただいています。来年、「おせっかい文化」が根付くこの地を訪問すること、そして個性豊かな勢いのあるメンバーの皆さんが主催する大会への参加、今からとても楽しみにしています!!

## ●全国城下町青年会議所連絡協議会とは

全国城下町青年会議所連絡協議会とは前述のような考えを持つ城下町にある各地青年会議所が全国から集まり「よみがえれ城下町」のスローガンのもとに、お互いの連携を強化し将来のビジョンをつくるため結成された組織です。第1回大会の松本大会から3年後に協議会組織が設立され、正式名称「全国城下町青年会議所連絡協議会」通称【全城連】と言います。2012年1月現在、66都市の各地青年会議所が加盟しております。

## ◆全国城下町青年会議所連絡協議会(全城連)加盟青年会議所(全66LOM) 2012年度総会開催時

- 函館・弘前・八戸・白石・仙台・上山・鶴岡・山形・米沢・会津・相馬・二本松・水戸・佐倉・東京・小田原・掛川・名古屋・犬山・豊橋・伊賀・松阪・丸岡・金沢・高岡・いわふね・上越・長野・上田・小諸・松本・彦根・水口・福知山・大和郡山・岸和田・明石・赤穂・篠山・龍野・姫路・三木・岡山・高梁・津山・福山・岩国・松江・鳥取・高松・さぬき・今治・宇和島・大洲・松山・北九州・唐津・大村・島原・福江・熊本・人吉・八代・杵築・中津・浦添

## ◆全国城下町シンポジウム開催地一覧

- |             |              |             |                    |
|-------------|--------------|-------------|--------------------|
| 第1回 長野県松本市  | 第2回 石川県金沢市   | 第3回 福島県津若松市 | 第4回 神奈川県小田原市       |
| 第5回 青森県弘前市  | 第6回 愛知県犬山市   | 第7回 滋賀県彦根市  | 第8回 香川県高松市         |
| 第9回 山形県鶴岡市  | 第10回 熊本県熊本市  | 第11回 兵庫県姫路市 | 第12回 三重県松坂市        |
| 第13回 島根県松江市 | 第14回 愛媛県松山市  | 第15回 大分県中津市 | 第16回 宮城県白石市        |
| 第17回 兵庫県明石市 | 第18回 大阪府岸和田市 | 第19回 愛知県岡崎市 | 第20回 山形県米沢市        |
| 第21回 長崎県島原市 | 第22回 富山県高岡市  | 第23回 岡山県津山市 | 第24回 長野県上田市        |
| 第25回 愛媛県今治市 | 第26回 新潟県上越市  | 第27回 佐賀県唐津市 | 第28回 京都府福知山市       |
| 第29回 青森県弘前市 | 第30回 長野県松本市  | 第31回 北海道函館市 | 第32回 香川県丸亀市(2013年) |

**第32回 全国城下町シンポジウム さぬき京極大会**

「おせっかいの心溢れる城下町の創造」  
～次代に繋ぐ新たな道標～

第32回全国城下町シンポジウム さぬき京極大会のホームページへのアクセスはQRコードをご利用ください

開催日 2013年 6月7日(金) 8日(土) 9日(日)

主催 全国城下町青年会議所連絡協議会  
共催 JCI 社団法人松本青年会議所

第32回全国城下町シンポジウム さぬき京極大会のホームページ <http://zenjo-sanuki.com/>



# さぬき JC Press 2012年度

Junior Chamber

対 外 誌

公益社団法人 さぬき青年会議所

〒763-0034  
香川県丸亀市大手町1-5-33F  
TEL 0877-23-0685  
FAX 0877-23-0686

<http://www.sanuki-jc.or.jp>  
E-mail: office@sanuki-jc.or.jp

さぬき青年会議所は「明るい豊かな社会を築く」ために活動しています

## 2013年6月7日(金) 8日(土) 9日(日) 全国城下町シンポジウムさぬき京極大会を開催します



ごあいさつ

全国城下町シンポジウム さぬき京極大会実行委員会 実行委員長 永瀬 誠

1982年、全国の城下町に住む青年たちが「城下町でのまちづくり」を共通のテーマに市民主導型の地域(まち)づくりを目指し「よみがえれ城下町」のスローガンのもとに、長野県松本市に集結し、以降「全国城下町シンポジウム」は、地域(まち)の持つ可能性を見出すための機会として、地域(まち)の人達と共に開催されて参りました。そして、2013年第32回全国城下町シンポジウムが、我々の住む地域(まち)で開催される運びとなりました。30年以上の長きに渡り、受け継がれてきた伝統と開創、主宰されてきた各地青年会議所の熱い思いを継承しつつ、(公社)さぬき青年会議所は、6月7-9日の3日間、第32回全国城下町シンポジウムさぬき京極大会を開催させて頂きます。

城下町は、それぞれの固有の歴史、文化、風土によって「都市のかたち」を作ってきました。規模の大小に関わらず、それぞれの都市や地域が持つ歴史やドラマは、今もなお訪れる人々を感動させる力を持っています。城下町だからこそできる「まちづくり」、「地域活性化」を真剣に考え、我々の力を持って、そして地域(まち)の方々と共に全国へ発信してまいります。

本大会のテーマ「おせっかいの心溢れる城下町の創造」～次代に繋ぐ新たな道標～と題し開催いたします。我々の住む地域(まち)には、古よりおせっかい文化が存在し、先人たちはおせっかいの心を持って、お遍路さんの労をねぎらいおもてなしをしたのです。そのおせっかい文化は、今の時代の流れと共に風化し、その文化の灯火は消え去ろうとしております。人と人の繋がりが希薄化した世の中になってしまいました。今 度、我々(公社)さぬき青年会議所は本大会を通じて、先人たちから受け継がれたおせっかい文化を見つめ直し、地域(まち)の持つ可能性を見出す大会へと構築してまいります。どうぞ、2013年6月7・8・9日多くの皆様にご参加頂たく、何卒宜しくお願い申し上げます。

## ●全国城下町シンポジウムとは

1982年7月17日、全国の城下町に住む青年が、「城下町でのまちづくり」を共通のテーマから市民主導型のまちづくりを目指し「見直そう城下町 創り上げよう昭和の遺産」のスローガンのもとに長野県松本市に集結しました。

「ほぼ400年以上の歴史を持つ私達の住む城下町は、いまだ大きな試練に立たされています。市民の道標であるべき天守閣は、高層ビルディングの谷間に埋れようとしています。歴史の風雲に耐えてきた建造物はしたいに姿を消し、文化遺産である地名は捨て去られようとしています。地域の特色ある産業に支えられてきた豊かな生活の実現は、極めて困難な道なためです。しかし、城下町特有の景観や地名を、子供たちを含む市民の多様な運動で再評価し、生活に生かすことが、これからのまちづくりに物心両面から重要な手がかりになることは明らかです。城の石垣、濠の水に映る城、小路のたたずまいは、技術革新の時代、高速道路、空港やコンピューターの時代と矛盾しあうものではありません。400年以上の城下町の歴史で培われた市民の文化は、地域産業の新しい発展にとっても、かながえのない遺産であり価値です。」(第1回シンポジウム宣言文抜粋)

以降【全国城下町シンポジウム】は、全国の城下町の青年達が一堂に会し、地域(まち)の人達とともに、地域(まち)の持つ可能性を見出すための機会とし、全国城下町青年会議所連絡協議会主催により、年1回開催されています。